

皆さん、おはようございます。今日は、2021年度の最初の凝念なので、明星の誕生の歴史と児玉九十先生の話をしてします。創立者児玉九十先生は1888年（明治21年）今から133年前に静岡県三島に生まれ、東大文科哲学科卒業後、今の成蹊学園に就職され、若くして成蹊学園の中心的存在として活躍されていました。その児玉九十先生が実業家星野鏡三郎という人物に出会います。星野鏡三郎という人は、現在の鹿島建設で活躍した後、土木や鉄道の会社を作り、財をなしただけでなく、篤志家（社会奉仕や公共の福祉などを熱心に支援したり実行したりする人）としても社会貢献をなさっていました。その星野翁から、児玉先生は「老後の社会奉仕はどのような事がいいでしょうか」と相談を受け、児玉先生が「社会事業か、政府事業か、教育事業のいずれかに貢献する事でしょう」と答えられると、星野翁は「自分は幕末に成人したために、正規の教育が受けられず、一生不自由をいたしましたから、いずれ時が来たら教育事業に寄付させて貰いたいと思います、その時には相談相手になって下さい」と言われ、お二人が交わされたこの会話で明星は誕生することになります。星野翁の私財、当時のお金で「20万円」、現在の貨幣価値に換算すると3億円を基金として学校建設がスタートし、1923年（大正12年）明星実務学校ができたのが明星の始まりです。児玉先生は大分の日田にあった咸宜園という学校をモデルにして理想的な学校を作りたいと思っておられて、都会ではなく、都心から20キロくらい離れた現在の府中キャンパスに土地を選ばれました。3か所の候補地から百年以上の松の大木が百本以上もあり、うっそうと茂る櫟林の現在地に決定されたそうです。講堂から教室に帰る時

に、講堂前とテニスコート横の松の大木を見て、当時を想像してみてください。

地鎮祭（建物を建てる前に安全祈願をする儀式）をやった場所は現在の武道場至誠館の横で、記念碑がありますから機会を作って確認して下さい。その頃は、今の東京農工大学は東大の実習の林で道路を隔てた明星側も雑木林の密林だったので、地鎮祭は祭典を行う場所だけを切り開いて祭典をしたと記録されています。さて、クイズです。校歌「櫟葉萌ゆる」と謳われている当時はうっそうと茂っていた櫟林ですが、櫟の木は現在どこにありますか？探してみてください。ヒントは、正門から歩いてくる道路の左側、北門に向かって歩く右側。

次に、校名が明星（メイセイ）となった由来です。星野翁が老後の社会福祉として多額の寄付をされたので、何とかして星か鏡の字の入った文字を校名にしたいと児玉先生はいろいろ探され、「明星」の文字に決まったそうです。日本では、「メイセイ」ではなく、「ミョウジョウ」と読むのが普通です。宵の明星、明けの明星という言葉があり、夜空にひときわ明るく輝く金星のことをさしています。校歌にある「学天の明星」は空に明るく輝く金星のことですからミョウジョウですよ。それが校名でメイセイになったのは、濁音はいかがなものかと好まない人もいて、中国の詩経という本の中に、「明星煌々」という言葉があり、メイセイコウコウと発音しているので、ミョウジョウではなくメイセイという一夫変わった読み方になったそうです。児玉先生の本には「明星という名をつけた根本の理由は、明星の生徒は「理想は高く、行いは一步より」を目指し、校歌にある「学天の明星」を目指して欲しいという深く強い願いがあった。」と書いておられます。さらに、明星が誕生した翌年大正13年に井の頭公園のところに明星

学園が作られ、よく混同されて困ったので、学苑の苑の文字に新宿御苑の苑の字を用いて、かこいのある園の字と区別するようにして、今日の明星学苑の文字になりました。

児玉九十先生は、1925年に成蹊学園を退職し、1926年に明星実務学校の校長に就任されます。1927年には、明星実務中学校が明星中学校となり、今の明星中学校・高等学校の校長をお辞めになったのが1978年ですから、52年間という半世紀以上に渡って明星中学校・高等学校の校長として、明星の教育に情熱を注がれたこととなります。その後、明星学苑長として手腕を振るわれ、1989年（平成元年）12月に101歳で生涯を終えられるまで、70年以上、明星と共に歩んでこられた方であることを、明星で学んでいる皆さんは知っておいて下さい。

明星の創立の歴史と児玉九十先生について少しお話をさせていただきました。興味や好奇心を持った生徒もいれば、全然興味ない、面白くないと思った生徒もいるかもしれませんが、皆さんに、何故このような話をしたかという、自分の通っている学校に誇りと愛着を持って欲しいからです。明星のことを知り、明星の教育に触れ明星で学べることに誇りと愛着を持って下さい。そうすれば、ポジティブな学校生活や部活動や授業となり、人間的成長にも成績面でもプラスに働きます。また、皆さんには卒業後も明星で学んだ誇りと自信を持って歩んで行って欲しいと思います。明星で学んだ真の明星人は、学校が誕生した経緯や、学校の名前の由来や児玉九十先生のことを他人に自慢気に語れる人です。自分が学んだ学校を好きであることは、諸君の人生にとって幸せなことですし、他人から羨ましがられることです。皆さんが、明星の歴史・文化に知的好奇心を持ってくれ、真

の明星人となってくれることを期待して本日の校長講話とします。 以上